

「自然農法の学びあい」を 土から、作物から、そして皆さんで

普及部

技術普及課



ただきました。本報では交流会の見どころを紹介させていただきます。

土から学ぶ

交流会では地元で自然農法を実践する農家ほ場を視察します。ほ場では60〜80cm深の穴を掘り、参加者に土壌断面構造を見ていただき、「作物が育ちやすい土の環境」を皆で考えました。

作物から学ぶ

昼食時は農家のこだわり野菜をはじめ、地場のオーガニック野菜を中心とした昼食を味わいながら、健康に育った作物の品質を学びました。

自然農法センターからの情報提供

当センター職員より自然農法の基礎について情報提供しました。自然農法の骨子は、土に本来備わっている生産能力と作物自身の育つ力を十

分に発揮させることであり、人間は「太陽、水、土」の助力を受けながら、作物がより育ちやすい環境になるよう手を加えることが自然農法栽培であるという内容でした。具体的な技術面では視察した農家ほ場の栽培技術を題材に、育土の方法や輪作のしかた、品種の選び方、植え付けの適期、土壌診断値の読み方などをお話しました。

参加者皆さんで学びあい

参加者一人一人に自己紹介と日頃の取り組みや想いを、短い時間で情報提供していただきました。

交流会の最後は交流会で学んだことや、知見を深めたいことについて質疑応答の時間を設けました。

質疑応答は、事前に申し込み用紙に記入していただくことと、交流会当日に白紙を一人一枚配布し、質問

事項を匿名で記述していただきスナップが回収して質問事項を読みあげて参加者皆で知恵をだしあう「学びあい形式」で進行了ました。日頃の実地と経験に基づく参加者同士の情報交換はお互いの宝になったようでした。

(安野 博健)



「学びあい形式」で参加者同士の情報交流
(愛知会場)

今年度も自然農法技術交流会を全国10会場で行いました。「参加者皆さんで自然農法を学びあえる交流会」をテーマとし、専業農家のほかに、新規参加者、農業研修生、流通・製造業者、食育活動者など合計約350名の方に情報交換をしてい



自然農法センターからの情報提供

本来であれば、
作物は健康に育つ



人間のプラスの働きで
さらに良く育つ

- ・未熟な有機物の害をなくす
- ・適地・適作
- ・健苗をつくる
- ・生育に合わせた整枝・・・

本来、キュウリは
無施肥でも育ち、
子孫を残す

人間のマイナスの働きで
育たない

- ・未熟な有機物の嫁込み
- ・自分の都合で植える
- ・悪い音を植える
- ・無理な整枝をする・・・

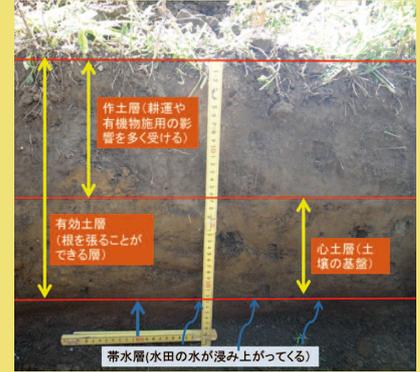
自然に対する人間の関わり方
についての情報提供

作物から学ぶ



健康な野菜の味を学ぶ
(北海道会場の昼食の様子)

土から学ぶ



土壌断面から土の環境を考える
(神奈川会場)

自然農法技術交流会に 協力して下さった方々

- ①会場場所 ②受け入れ農家 ③研修会場の提供機関
- ④昼食の提供機関 ⑤受け入れ農家の栽培の特徴

- ①北海道
- ②宮原 克弘さん
- ③ Mt. ピッシリ森の国の倉庫
- ④宮原氏の野菜と熊肉でパーベキュー
- ⑤多品目野菜栽培に取り組む。塾も開講し、若手農業者の育成もしている



- ①宮城県
- ②丹野 清隆さん
- ③ JA 仙台・中央センター
- ④芳賀商店 (022-289-5022)
- ⑤水田雑草対策で秋処理と有機物田面施用による抑草効果が見られた



- ①栃木県
- ②綱川 稔さん
- ③芳賀町農業者トレーニングセンター
- ④菜食・惣菜工房いもあん (028-677-5080)
- ⑤田畑転換と緑肥活用による土づくり



- ①神奈川県
- ②松本 邦裕さん
- ③小田原市城北タウンセンターいずみ
- ④ビーンズビレッジ (0465-43-9477)
- ⑤草生栽培と緑肥の活用で土づくり



- ①福井県
- ②南 都志男さん
- ③勝山市教育会館
- ④めん工房きふね (0779-87-2788)
- ⑤自然農法水稲栽培歴 50 年以上で有機 JAS 認定農家



- ①愛知県
- ②(公財)自然農法センター 知多草木農場
- ③知多市勤労文化会館
- ④じろきん (0562-32-0111)
- ⑤温暖地域での自然農法技術の検証・展示



- ①広島県
- ②森 昭暢さん
- ③東広島市志和生涯学習センター
- ④ Almonde (070-5523-8173)
- ⑤緑肥や雑草、地域資源を活用し、省耕起、省力、少量多品目栽培



- ①兵庫県
- ②藤原 明さん
- ③三田市青野ダム記念館
- ④味の店さんだ (079-565-0184)
- ⑤粘土質土壌を自家製堆肥と E M ボカシを活用して育土



- ①愛媛県
- ②中野 聡さん
- ③東宇和農協田之筋支所
- ④喜楽たのすじ (0894-62-0043)
- ⑤中山間地で自然農法 214a、減農薬 393 a の水稲を E M 活用した栽培。有機 JAS 認定農家



- ①鹿児島県
- ②久木田 大和さん
- ③霧島市福山町活性化センター
- ④ CAFE 家音 (0995-46-6344)
- ⑤サツマイモー冬まきニンジンー夏まきニンジンの 2 年 3 作体系＋緑肥活用で育土・虫害対策



スタッフ一同、厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひします。